

旭日小綬章受章

山村若佐紀 上方舞 伝承の会



令和6年8月18日(日)

午前10時30分開場／午前11時開演

国立文楽劇場大ホール

OsakaMetro 堺筋線・千日前線「日本橋」駅、近鉄奈良線「近鉄日本橋」駅下車、7号出口より徒歩1分
TEL/06-6212-2531

《山村若佐紀・経歴》

- 昭和18年 山村流に入門、手ほどきを受ける。
昭和25年 山村流名取免許取得。山村若佐紀を名乗る。
昭和30年 山村流宗家、四世 山村若に師事。
新しい感覚で上方舞の普及と発展に努め、
大阪文化祭や文化庁芸術祭に参加、リサイタル等を行い受賞。
昭和51年 文化庁芸術祭賞を三年連続で受賞。
昭和52年 大阪文化祭賞金賞ほか多くの賞を受賞し、話題を誘う。
昭和63年 芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞を受賞。
平成13年 紫綬褒章受章。
平成19年 旭日小綬章受章。
平成20年 オーストラリアでも上方舞が、画像電子学会で採択される。
平成22年 日本舞踊協会より、永年の多大な貢献と功績により表彰される。
平成24年 日本舞踊協会関西支部 大阪東地区委員長任命を受ける。
平成25年 オーストラリアでも上方舞の「愚痴」が、
画像電子学会で採択される。
平成29年 東大阪市より、文化芸術の貢献により表彰される。
平成30年 東大阪市日本舞踊協会 会長任命を受ける。
平成31年 イタリアの十五世紀の舞踊と日本の上方舞の動きの共通点の考察。

《活動内容》

- 東大阪に在住、大阪が誇る上方舞山村流の伝統を大切に守り、
伝承のための活動を続ける。
NHKテレビ「芸能花舞台」にも再度出演。
- 昭和59年から、大阪府立文化情報センターに於いて、
情操教育と伝統芸能の発展のため「上方舞教室」を開催。
- 平成2年、東大阪市民会館に於いて、「こども上方舞教室」を設立、
平成15年に文化庁から認定を受ける。
- 平成29年7月1日 石川県立音楽堂で開催された
「日本芸能道中シリーズ第3回」で国宝級の方々と共に出演し、
地唄舞「道中双六」を披露。
- NHK古典芸能案内人として、
関西で「ぐるっと関西おひるまえ」の番組で紹介される。

山村流 上方舞教室

小阪お稽古場 TEL.06-6722-3708
東大阪市小阪本町1-14-20 (近鉄河内小阪駅下車、南へ5分)

こども教室

小阪公民館 (小阪駅南へ5分)

10月より開講

ドーンセンター教室

(地下鉄谷町線天満橋駅下車、東へ7分)

※入口入って左横のエレベーターで地下1階へ。10月のおけいこのみ4階の和室になります。

山村流 乃紀教室

小阪公民館教室 (三角公園)

第3日曜日午後1時30分から午後4時30分



上方舞・山村流は、江戸時代(文化3年)に大阪で創流された、二百年以上続く日本の代表的な伝統
芸能のひとつです。座敷舞・地唄舞とも呼ばれる上方舞は、抽象的に心情を表現し、ゆったりとした
静かで優雅な動きが特徴です。
私は、昭和三十年より山村流四世宗家 山村友五郎御師匠様にご指導を賜り、現在は、六世宗家 三代目
山村友五郎御師匠様の門人として、上方舞の普及発展に努めてまいりました。時代の変化が著しい昨
今ですが、この素晴らしい伝統芸能を残し、次世代につなげていくことができればと、今後も一層
の精進に努めてまいる所存です。
今回、ご出演いただきます山村流宗家・山村友五郎御師匠様に、心より感謝申し上げます。また、
上方舞を愛し、長きに亘りご愛顧・ご支援をいただいておりますたくさんの方々にも、謹んでお礼
申し上げます。
本日は、ご来場いただき誠にありがとうございました。

山村若佐紀

